

3学年地元企業座談会

4月10日(木)本校体育館にて、3年生と地元企業との座談会を実施しました。この座談会は、生徒が地域に根差す企業の職場環境や業務内容について理解を深め、進路選択の一助とすることを目的としています。座談会には長崎県中小企業家同友会に所属している15社の企業の社長さんらが出席し、生徒たちに熱心に語りかけてくださいました。生徒たちは時折メモを取ったり、質問したりしながら、様々な業種やその業務内容についての理解を深めることができました。また、働くことの意味や社会人としてのマナーなども学ぶことができました。

3年生は今回の企業の方々からの学びを活かし、いよいよ就職・進学に向けて本格的に活動を開始します。





生徒代表お礼の言葉 3-3 細田蓮人

生徒の感想

- ・地元の中小企業さんは、私たちの住んでいる地域に寄り添って様々なことに尽力してくださっている大切な存在であるということがわかった。
- ・何事にもチャレンジすることは大切だが、しっかり最後までやり遂げることが何よりも重要で、そこで合否が決まることもあると感じた。
- ・企業の方々は、普段私たちの目に見えないところで人や社会を支えているということを知った。私もまずは学級内で自分の役割をきちんと果たし、動けるようになりたい。
- ・選択肢は一つではなく、もっと視野を広げて考えてみようという気持ちになった。
- ・社長さん方は皆さんポジティブで、様々なことにチャレンジされていた。「自分に制限をかけないこと。思っているより自分はできる!」という言葉に感銘を受けた。私も自分に制限をかけずに何でも挑戦してみたい。
- ・社長さんのイメージは厳しい人だと思っていたが、皆さん優しい方ばかりだった。私は人と関わるのが苦手だけれど、人と関わることで成長するというお話を聞き、これからは少しずつ人とコミュニケーションをとろうと思った。